※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）論理数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業の中で「主体的に取り組むこと」「論理的に考えること」「考えをわかりやすく表現すること」の３つに意識して取り組んでください。はじめは難しいところもありますが、継続していくことでそれぞれの力は養われます。わからない問題に対して、すぐに質問するのではなく、根気強く考えることに取り組んでください。また、質問するときには思考の過程も伝えてください。

2　学習の到達目標

①論理的に考えるための証明方法や順序を理解する。
②論理パズル等の課題に取り組み、順序立てて考える論理的思考力を身に付ける。
③事象を数学的に考察し、式や表、図を用いて表現したり処理したりしようする態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	問題について，仮説立てて考えることができる。 集合や命題について，用語や記号の意味を理解している。 論理的に考えるための，証明方法や順序を理解している。	課題について，順序立てて考えることができる。 命題について，集合の考え方を用いて考察することができる。	論理的に考えることに興味をもち，順序立てて考察しようとしている。 集合および命題の考え方に関心をもち，それを事象の考察に活用しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	論理パズル	ナンバープレース マインスイーパー イラストロジック スリザーリンク ダブルチョコ	a：論理的に考えるための，解決方法や順序を理解している。 b：課題について，順序立てて考えることができる。 c：論理的に考えることに興味をもち，順序立てて考察しようとしている。	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察
２学期	命題と集合	集合と要素 部分集合 全体集合と補集合 共通部分と和集合 命題の真偽 命題と集合	a：集合や命題について，用語や記号の意味を理解している。 b：命題について，集合の考え方を用いて考察することができる。 c：集合および命題の考え方に関心をもち，それを事象の考察に活用しようとしている。	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察
３学期	命題と証明	必要条件と十分条件 命題の逆･裏･対偶 対偶証明法 背理法	a：具体的な命題について，真偽を調べたり，逆や対偶などを表したりすることができる。 b：命題の必要条件・十分条件や逆・裏・対偶を集合と関連付けて考察できる。 c：命題の証明方法に関心をもち，それを事象の考察に活用しようとしている。	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度